

タイトル	教育学部国語教育専攻 前期日程「国語小論文」
評価のポイント	<p>「国語小論文」では、日本語のしくみや日本語を用いた文化に関する総合的な力を問い、課題の理解力、論理的な思考力、発想の豊かさ、文章表現力などを評価した。評価に当たっては、以下のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文の内容をよく理解し、設問意図に沿った解答ができているか。 ・問題のテーマに関連した基礎的な知識をもっているか。 ・解答の記述に当たって正しい論理の運びができているか ・解答の論旨が明快であるか。 ・適切な表現ができているか。具体的には、誤字・脱字はないか。文章に乱れはないか。 ・制限字数を満たしているか。極端に短い答案になっていないか。 <p>加えて、それぞれの問では、次の点を満たす必要がある。</p> <p>①問1：「強情」と「我慢」と「忍耐」の三者の関係について、本文を的確に読み取り、整理して述べられているか。</p> <p>問2：意味が変化した語について、変化前と変化後を的確にとらえ、説明できているか。</p> <p>②：小論文の学習を通じてどのような力を得たか、客観的にとらえ、説明できているか。</p> <p>出典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興膳宏『仏教漢語 50 話』岩波新書 (2011) ・樋口裕一『ホンモノの文章力』集英社新書 (2000)